

## ■ 申し込み・お願い

1. 申し込み方法
  - 郵便振替で入金し、その領収書のコピーと申し込み用紙を、必ず一緒にFAXして下さい(郵送も可)。郵便振替用紙の通信欄に、「研究集会参加費」「弁当代」「申込人数」など入金額の内容を記入してください。
  - 準備の都合上、なるべく5月17日までに申し込んでください。
  - 午後の分科会は、各教室の定員に達し次第しめきります。また、当日申込の場合、参加できる分科会が限られることがありますので、ご了承ください。
2. 第2希望の分科会に回っていただく場合は、連絡を差上げます。
3. 事前申込後のキャンセルは5月24日まで受け付けます。その場合、事務費を差し引いた額を返金致します。
4. 保育所は準備しますが(4歳以上)、充分ではありませんので、なるべく地域で解決してください。必要とされる方は必ず事前にお申し込み下さい。
5. 研究集会会場には参加者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ先は

**埼玉県学童保育連絡協議会**

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

TEL048(644)1571 FAX048(644)1572

[http://www.geocities.jp/saitama\\_gakudou/](http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/) e-mail: [gakudoust@yahoo.co.jp](mailto:gakudoust@yahoo.co.jp)

郵便振替 00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

### 【会場地図】川越市市民会館

川越駅東口・本川越駅から東武バス

○神明町車庫行・城西高校行→「一番街」下車→徒歩5分

○平方行・上尾駅西口行・川越運動公園行・宮下循環→「大手町」下車→徒歩3分



# 第38回埼玉県学童保育研究集会

すべての子どもたちにいきいきとした放課後を!

- 2010年5月30日(日) 9:00開場
- 川越市市民会館・川越小学校(※地図参照)  
(受付場所は川越市市民会館)
- 参加費 2,300円(資料代込み、弁当代別700円)

### \* 学童保育へようこそ! 豊かな子育てをご一緒に \*

新学期が始まり、ピカピカの1年生と保護者の方々を迎えました。指導員1年生の方もたくさんいらっしゃるかと思います。

学童保育は、保育所のように朝夕保護者が送り迎えするのと違い、子ども自らが学校から帰って行かなければなりません。ですから私たちは、学童保育が子どもにとって安心して自分自身が出せる“居場所”となるように努めてきました。

学童保育には、子どもたちの生き生きとした姿があります。友だちとあそんだり、何かにとりくんだりしています。いたずらや悪さもします。時には、ケンカしたり、いじめたり・いじめられたりすることも。そんなあたりまえの生活の中で子どもたちは育っていきます。

子どもは「預けっぱなし」では育ちません。多くの学童保育には保護者会・父母会があります。そこでは、子どもの育ちを中心に、指導員と保護者がともに相談・協力し合うことを大事にしています。最初はなかなか声を出しにくいでしょうが、ぜひ参加して話をしてみてください。

この研究集会も、保護者会などと同様、保護者と指導員(行政担当者の方も参加されています)とが一緒に学童保育のいろんなことを学び合う場です。

たくさんの保護者と指導員の参加をお待ちしています。

**主催** 埼玉県学童保育連絡協議会  
川越学童保育の会  
**後援** 埼玉県・埼玉新聞社

□ 記 念 講 演 □

子どもの居場所と子育て  
～子ども・親・指導員のつながり方～  
春日井敏之氏 (立命館大学教授)

かすがい・としゆき

1953年、岐阜県生まれ。京都府内の公立中学校教諭として23年間勤務ののち、現在、立命館大学文学部人文学科教育人間学専攻教授。専門は臨床教育学、教育相談論。学校現場の教師とのケース・カンファレンス、不登校の子どもを持つ「親の会」などの活動にも長年取り組む。

主な著書に、『希望としての教育』（三学出版、2002年）、『教育相談』（共著、学文社、2008年）、『ピア・サポート実践ガイドブック』（共編、ほんの森出版、2008年）など多数。最新刊に『思春期のゆらぎと不登校支援ー子ども・親・教師のつながり方』（ミネルヴァ書房、2008年）がある。



愛されて育てられるということ

子どもは、何のために生まれてくるのでしょうか。答えは一つ、かけがえのない命を持って、幸せになるためです。「自分にとっての幸せとは何か」を探ることが、ある意味、人生の目的です。私は、学生から尋ねられたら、「社会正義の実現」と答えています。人々は幸せになるために生きている。そのためには、社会的な正義が実現され、弱者が、そしてすべての人が大事にされるような社会を作っていく必要があると考えています。

一人ひとりの子どもを大事に見ていくことは、その子どもが好きなこと、大事にしていること、こだわっていることをまず認めて、ともに大事にしていくことです。子どもと向き合う時には、受容・共感という姿勢と、要求・指導という姿勢が求められます。この二つは決して矛盾するものではありません。特に要求・指導が、管理主義に陥らないためには、大人の都合ではなく、要求していることが、子どもの権利や利益に合致しているかを問いながら、子どもを守る枠として話せば伝わるのです。

その原点は、「よう生まれてきてくれたな」という気持ちです。最近、保育園の先生方から、三歳の子供が、けんかした相手に向かって「チネ（死ね）」と言ったり、散歩に行くと、「僕なんか生きててもしょうがない、死んだらええねん」と川に飛び込もうとしたといった報告を聞きました。これは、「親からの虐待」「社会や学校の競争原理」「テレビ番組の影響」などだけではなく、もっと根底に、幼い子どもたちが、「自分は生まれてきてよかった」と思えなかったり、かけがえのない命を安心して生きられない不安な状況を、心と体で感じていることがあるのではないかと思います。

こうした状況に対する大人たちの対応には、いくつかの傾向があります。一つめは、暴力や暴言など、ついつい抑圧的に対応する傾向。二つめは、子どもと正面からぶつかるのを避けて、物やお金で子育てを代替する傾向。三つめは、子どもに過剰な期待をかけ続ける傾向です。四つめは、「自分の親は私に対してどのようにしてくれたかな」と育ちの原点をたどり、振り返りながら子育てをしている。そして五つめは、親としての葛藤や悩みを一人で抱え込まずに、夫婦で、あるいは周りの人々とつながって相談しながら子育てをしている。

これは、前者がダメで、後者が良いと言いたいのではなく、私たち一人ひとりの中にこうした傾向が混在していることを自覚し、調整していくことです。現代社会の中で生きる親や指導員も、多かれ少なかれ前者のような傾向を持ちながら、子どもたちと向き合っていることを、謙虚に見つめることから、お互いにつながっていききたいものです。

(「日本の学童ほいく」誌 2010年2月号より)

■ 日 程

9:00 9:30 12:15 13:30 16:30

受付 全体会 昼食 18の分科会

■ 内 容

□ 午前 = 全体会

- オープニング 地元川越市から 仙波囃子保存会 こども囃子
- 会長あいさつ/地元・川越市長あいさつ(予定)
- 基調報告 埼玉県学童保育連絡協議会
- 10年、20年、30年勤続の指導員の表彰
- 記念講演「子どもの居場所と子育て～子ども・親・指導員のつながり方～」  
【講師】春日井敏之氏(立命館大学教授)

□ 午後 = 18分科会 (※別紙参照)

----- 申 し 込 み 用 紙 -----

市町村名	氏 名	学 童 保 育 名
学童以外のTELなら→	< >	TEL
※○印をつけてください	指導員	現役の保護者
	その他 ( )	
指導員の方	勤続年数	1年未満 2年目 3年目 4年目 それ以上 ( 年目)
希望分科会	1 ( ) 2 ( ) ※必ず第2希望まで書いてください	

\* マルをつけてください → ( 2,300 弁当あり3,000 ) 円を添えて申し込みます。

# 分科会 13:30~16:30

※注 各分科会のテーマの下にある「※カリキュラム○年次○課」は、「学童保育指導員研修カリキュラム」の科目に対応しています。

## 学童保育入門

( )今年、保護者・指導員となられた方へお勧めです

### 1. 基礎講座 もっと知りたい学童保育の大事さ・魅力 ～ お父さん・お母さんのための分科会です ～

【講師】山本博美（草加市指導員、全国学童保育連絡協議会会長）

学童保育の毎日には、いろいろな場面があります。時間を忘れて遊びに夢中になったり、友だちとケンカをしたり、時には指導員に叱られたり…。この分科会では、学童保育で繰り広げられる子どもたちのエピソードを、ベテランの山本先生からたっぷりお話ししてもらいます。

※参考図書 「学童保育のハンドブック」（ぎょうせい）

### 2 + 3. 基礎講座 指導員になりたてのあなたへ ～学童保育って、指導員の仕事って何だろう～ 2つの分散会です ※カリキュラム1年次1-（1）（2）課

【講師】2. 松崎波留美（寄居町鉢形学童はりきりクラブ指導員）

3. 橋本晶子（坂戸市あおぞらクラブ指導員）

「子どもに関わる仕事がしたい」と学童保育を選んだあなた、日々の仕事はどうですか？子どもとうまくいっていますか？先輩指導員との関係はどうですか？父母会や地域、行政との関わりなどもあって「学童保育っていったい…」ととまどってはいませんか。

新人指導員さん、2ヶ月を過ごしてみて、率直な気持ちや悩み、とまどいを出してください。講師を中心にみんなで考え合いたいと思います。

※参考図書 「学童保育のハンドブック」（ぎょうせい）、「テキスト指導員の仕事」（全国連協刊）、「入門ガイド 学童保育指導員」（大月書店）

## 生活づくりを豊かに

( )「指導員力」をもっともっとつけたい方へお勧めです

### 4. 学童保育の生活づくり（保育）ここを大切に ※カリキュラム 1年次1-（1）課 2. 3年次3-（1）課

【講師】稲垣健治（さいたま市三室あおぞらクラブ指導員）

子どもが喜んで学童保育に通ってくれなければ、親たちは安心して働くことができません。指導員は学童保育が一人ひとりの子どもたちにとって安心できる居場所になるよう、悩みながら様々な工夫をしていきます。学童保育の生活づくり（保育）をどう進めるか学びます。

### 5. 一緒に子育て 学童保育 ～ 保護者と指導員で、保護者同士で伝え合う子どものこと ～ ※ カリキュラム 1年次1-（1）課

【講師】太田美智子（新座市東野放課後児童保育室指導員）

子育て情報は巷にあふれていますが、子育てはマニュアル通りにはいかないもの。「自分を出せる」学童保育の場で子どもたちは素顔をあらわしています。子どものことは指導員に聞きましょう。指導員はもっと親に伝えましょう。親同士ももっと仲良くなりたいたいものです。そんな関係の大切さ、どうしたらそんな関係をつくっていきけるのかを学びましょう。

### 6. 子どもの権利と指導員に求められる倫理を学ぶ ※ カリキュラム 1年次1-（3）課

【講師】下浦忠治（日本社会事業大学専門職大学院講師）

「放課後児童クラブ（学童保育）においては、指導員の言動は子どもや保護者に大きな影響を与えます。したがって指導員は、仕事を進める上で倫理を自覚して、自らを律し、指導内容の向上に努めなければならない」（「放課後児童クラブガイドライン」）。子どもを権利主体として尊重することの大事さ、指導員に求められる倫理・モラルについて学びます。

## 子どもの見方を深める

( )子どもの育ちを見る目・関わる力をもっとつけたい方へお勧めです

### 7. “子どもが育つ”ってどういうこと？ ～ 子どもの発達のしくみと子どもへのはたらきかけを学ぶ ～ ※カリキュラム 1年次2-（1）（2）課

【講師】荒井育恵（大宮開成中学高等学校教諭）

「言葉が通じない」「ささいなことですぐキレる」など、子どもたちの実態にとまどうことが増えています。いま、様々な要因から子どもの育ちそびれが懸念されています。指導員は、子どもの発達段階を踏まえた働きかけをしていくことが大事になります。そのためには、子どもの心と身体の成長について正しい知識を持つことが欠かせません。養護教師の荒井先生と一緒に考えます。

### 8. 生きる知恵と本物の学力を子どもたちに！ ※ カリキュラム 2. 3年次2-（1）課

【講師】渡辺恵津子（上尾市立公立小学校教諭）

日本の子どもの「学力低下」が指摘され、文科省は「ゆとり教育」の見直しを言い出しています。「『できる』けれども『わからない』学力」「勉強すれど自信（自己肯定感）の持てない学力」？日本の学力政策はどうも成功していないようです。学校はどうなっているのか、何が問題なのか。そして、ヒトとして生きることに関わる知恵と学力を育てるために親や学校は何をしたらよいか。ベテラン教師の渡辺先生とともに考えます。

### 9. 「学童保育の子が、我が子がわ からない」とお悩みのあなたへ ～ 子どもの育ちをどう見て、関わったらよいか 知りたい～ ※ カリキュラム 1年次2-（1）（2）課

【講師】粕谷佳織（埼玉県公立中学校養護教諭）

「うざい！死ぬ！消えろ！」言葉が荒い。すぐにキレる、手も出る。でも、家庭では別な顔も見せ「良い子」らしい？…「仲良し」を装わないといけない友だち関係、「よい子」を強いられる生活等でストレスを貯めているのでは…。高学年ともなるともっと分からない…。子どもの心を知りたい。養護教師の粕谷先生とともに考えます。

## 10. 児童虐待、子どもの貧困

など、子どもたちをめぐる今日の問題を考える

※ カリキュラム 1年次2-(1)(2)課

【講師】小宮純一(フリージャーナリスト、埼玉子どもを虐待から守る会理事)

児童虐待の相談件数が急速に増えています。蕨市で4歳児が食事を与えられずに衰弱死する事件も起きています。学費が払えず進学を断念する子ども、家庭での食事がままならず学校給食で食を満たす子どもたち。子どもたちに何が起きているのか、その背景に何かがあるのか、私たち大人や指導員として何ができるのか、フリージャーナリストとして子どもの問題を追いかけている小宮さんと一緒に考えます。

## 11. 子どものために大人自身がきちんと「性」を学ぼう

※ カリキュラム 1年次2-(1)(2)課

【講師】任海園子(元東京都立小岩養護学校教諭)

日本では、書店やコンビニで簡単にポルノ雑誌を眺めることができ、アダルト情報がちまたに氾濫しています。女性のからだを「モノ」扱いする風潮も強くあります。子どもたちは、大人の男たちがつくり楽しんでいる性情報をテキストに「性」を学習しています。自己や異性のセクシュアリティについて科学的に正しい学習を通して「心とからだの主人公」になることが大事です。任海先生と一緒に考えましょう。

## 12. 親子で楽しくおいしく食べよ ～子どもの生活を「食育」から考えましょう～

※ カリキュラム 1年次2-(1)課

【講師】安藤節子(「たべもの文化」編集長)

「夜型生活」の影響で朝食を食べて来ない子、「ダイエット」と称してきちんと食事を摂らない子。生活習慣病などの食習慣の問題や食物アレルギーにアトピーの問題。今日、「食」をめぐる問題は実に深刻。本当は、規則正しく、家族して、おいしく栄養あるものを食べたいものです(現実にはトホホですが…)。専門家の安藤先生と一緒に考えましょう。

## 障害児の理解を深める

(一) 障害のある子どもの育ちと支援を理解したい方へお薦めです

## 13. 障害児と一緒に育つ

～LD、ADHD、高機能自閉症の子どもを理解するために～

※ カリキュラム 2.3年次2-(2)課

【講師】篠崎純子(神奈川県公立小学校教諭)

落ち着かない、ひとの話が聞けない、言葉の前に手が出てしまう。けれど、実力がない訳ではない。「ちょっと気になる子」と言われる子ども。「LD」「ADHD」と特別扱いのレッテルを貼れば解決することではありません。そうした子どもをどう理解し、支援していくか、学童保育の生活の中で何ができるかを考えましょう。

## 14. 障害児学童保育の講座①

～入門編 障害児学童保育とは何か?生活づくりを豊かに

【講師】竹脇真悟(埼玉県宮代特別支援学校教諭)

障害児学童保育は、障害のある子どもの放課後生活を豊かにすることで成長を促し、そのことを通して親の労働と家族の生活を守ります。それを実践するのが指導員です。障害児学童保育の果たす役割、指導員の仕事と

役割、生活づくりをどう進めるか?父母と指導員との関わり等を、障害児学童保育にも詳しい竹脇先生と一緒に学びましょう。

## 15. 障害児学童保育の講座②

「思春期問題」は、成長の1過程の問題ととらえて

【講師】清水 均(埼玉県東部障害者就業・生活支援センター「みらい」職員)

小学部から高等部まで12年間を過ごす障害児学童保育の生活づくりの中で、思春期の子どもたちへの対応は悩ましいものです。しかし、小学部低学年時代から関わっている指導員たちにとって「思春期問題」は、その子の成長過程で起こる必然とも見える姿です。思春期の問題をどう考えるかを、清水先生と一緒に考えましょう。

## よいよい学童保育の条件・施策をつくる

(一) “学童保育運動力”をパワーアップしたい方にお薦めです

## 16. “父母会力”をつける・高める ～“みんなでつくる、みんなの父母会”ってどうしたらできるの?～

【世話人・助言】木村徹(県連協副会長)、柏木なほ子(飯能市指導員)

学童保育をよりよく、より充実したものにするために父母会・保護者会があります。「わずらわしい・集まらない・役員が決まらない」という声も聞かれます。「父母会のなかで子育ての悩みが共有できた」「行事が楽しい」「アフターはもっと楽しい」という声も聞かれます。父母会をみんなのもの、魅力あるものにするにはどうしたらよいかを交流します。また、父母会活動のなかで指導員が果たす役割についても考えます。多数の父母会(元気でない父母会も)と指導員の参加をお待ちしています。

## 17. 大規模学童保育の分割を! 子どもの生活にふさわしい規模の学童保育をつくろう!

【世話人・助言】高橋成一(県連協副会長)、新井利民(県連協運営委)

県内では現在、私たちの運動と埼玉県の後押しもあり、大規模学童保育の分割が進んでいます。「71人以上の解消」が当面の問題ではありますが、本来、適正規模の40人にしていく必要があります。同時に、分割に際して、子どもや父母会をどう分けるかなどの悩みや課題も出されています。一方、分割に際して他の事業体が参入するという地域もあります。子どもたちが快適にすごせる学童保育をどうつくっていくかを考えましょう。

※参考図書 「学童保育の新設・分割の手引き」(全国学童保育連絡協議会)

## 18. 特別企画

本音で語ろう!指導員と保護者

○指導員から 仕事のやりがい・悩み

○保護者から 学童保育と指導員への期待・願い

【世話人】薄井俊二(県連協会長) 亀卦川茂(富士見市水谷放課後児童クラブ指導員)+シンポジストとしての報告者(保護者と指導員)

保護者は、子どもと親の立場に立ち、熱意を持って働く指導員に息長く働き続けてほしいと願っています。指導員の多くが「子どもの成長していく姿をみることができる」仕事にやりがいを感じています。しかし実際には半数の指導員が3年で退職している現実があります。学童保育のカナメである指導員を励ましたいと、このような企画を考えました。指導員が何を願い・何に悩んでいるか?保護者は学童保育と指導員に何を願っているか?を出し合い、学童保育をよりよくしていくために、保護者・指導員ができることを考え合います。